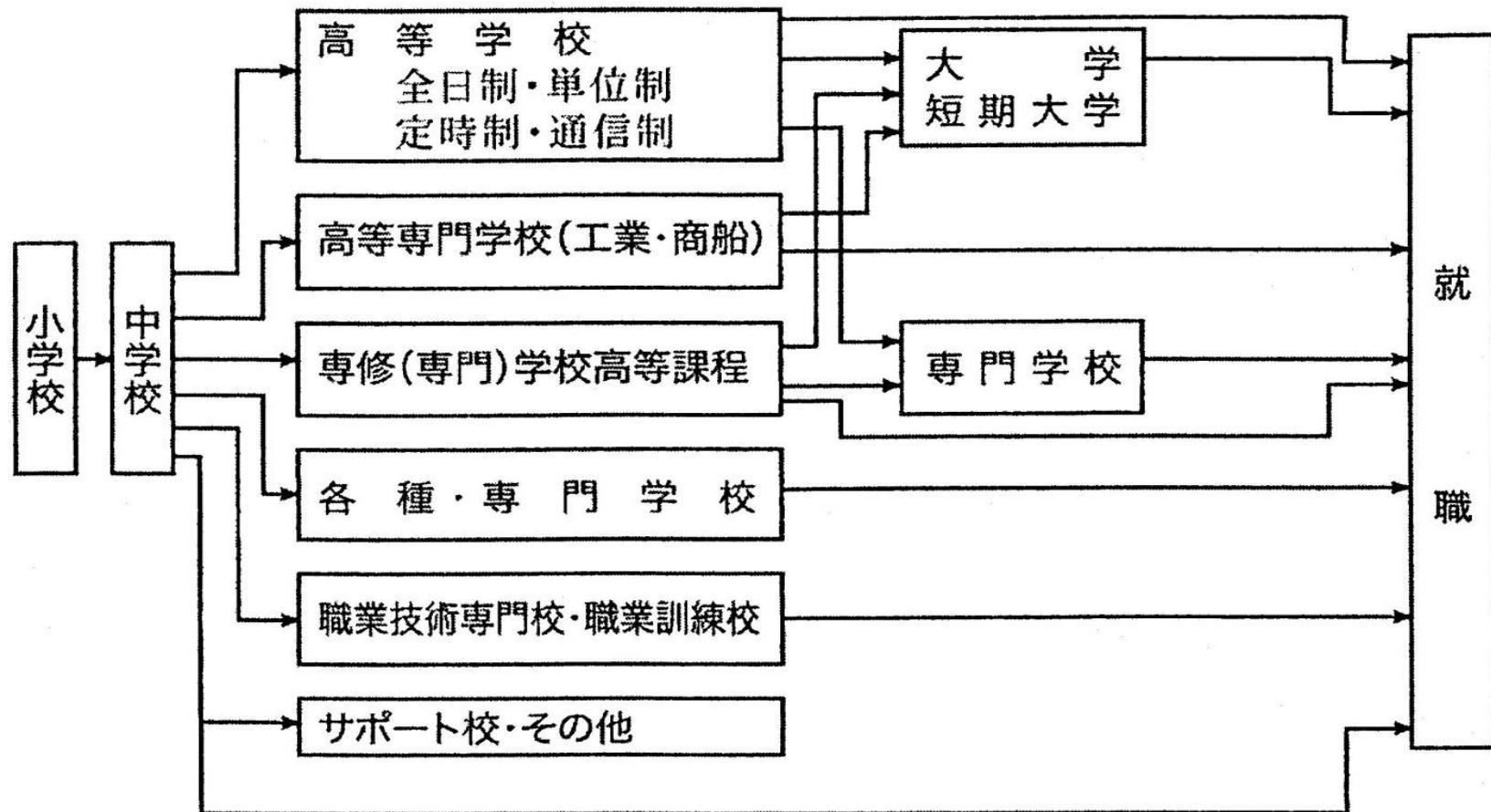


# 進路保護者説明会

平成28年9月10日  
大阪市立住吉中学校

# 卒業後の進路



# 進学希望者のスケジュール

11月 懇談 → 志望校の絞り込み・専併の検討

12月 懇談 → 私立志望校・専併の決定 → 願書の入手  
公立特別選抜・高専志望校の決定  
公立一般選抜の志望校も検討

1月 府大高専[推薦]出願・入試  
私立高校出願(27日予定)

2月 私立高校入試(10、11日)・合格発表(12日～)  
公立特別選抜出願(14、15日)・入試(20、21日)  
発表(2月28日)  
懇談 → 公立一般選抜志望校の決定

3月 公立一般選抜出願(2、3、6日)・入試(9日)  
合格発表(17日)

# 私立高校の受験方法

## 専願

- 合格すれば必ず入学すると約束して受験すること
- そのため、ほとんどの私立高校では、合格点を低くするなどして専願者を優遇する
- 専願で合格すれば、公立高校や他の私立高校を受験することはできない

## 併願

- 私立・公立の両方を受験すること
- 私立の合否にかかわらず公立を受験できる
- 併願で合格しても、公立に合格すれば必ず公立に入学する
- ほとんどの私立高校では公立の発表後に手続き

## 私立高校受験（2月10日入試）

公立のみ受検

専願

併願

合格

不合格

合格

不合格

入学手続き

公立高校受検

公立受検できない

特別選抜（2月20、21日入試）

合格

不合格

入学手続き

一般選抜（3月9日入試）

一般選抜受験できない

合格

不合格

入学手続き

私立併願合格者  
入学手続き

二次選抜・私立2次・専修学  
校・各種学校・縁故就職

## ☆調査書

- ・目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）を平成28年度入学者選抜から導入する。
- ・評価対象学年を全学年とし、第3学年の評定を重く評価する。

◎H29年度選抜（現中3）：第3学年・第2学年の評定を活用

$$\text{『3年：2年= 3：1』}$$

◎H30年度選抜以降（現中1・2）：全学年の評定を活用

$$\text{『3年：2年：1年= 3：1：1』}$$

- ・記載項目は、「各教科の学習の記録」（評定）及び「活動/行動の記録」とする。
- ・学力検査の成績と調査書の評定の比率については、3：7～7：3の5つのパターンから高等学校が選択し、教育委員会に申請する。
- ・全9教科の評定を同等に扱う。

◆合否の判断は、学力検査の点数と調査書の評定の点数の合計(総合点)で行います。

・学力検査(5教科合計)の満点と調査書評定の満点が同じになるように、調査書評定には一定の係数をかけた上で調査書評定の合計を求めます。

【例】平成29年度選抜の一般選抜では、2年生の評定を1倍、3年生の評定を3倍し、これらの合計を2.5倍することで調査書評定の合計を求めます。

学力検査 (国・社・数・理・英)	調査書の評定(5段階 9教科)	
	2年生	3年生
90点 × 5教科	5 × 9教科 × 1	5 × 9教科 × 3
	45点	135点
合計は180点 これを450点満点に換算するために... × 2.5		
合計 450点 満点	合計 450点 満点	

- ・総合点は学力検査の点数と調査書の評定に、各高校が定めた倍率をかけることで求めます。

倍率のタイプ	I	II	III	IV	V
学力検査の成績にかける倍率	1.4倍	1.2倍	1.0倍	0.8倍	0.6倍
調査書の評定にかける倍率	0.6倍	0.8倍	1.0倍	1.2倍	1.4倍

### 【例】タイプ II の場合

学力検査 (国・社・数・理・英)	調査書の評定(5段階 9教科)
450点 × 1. 2	450点 × 0. 8
合計 540点 満点	合計 360点 満点
合計(総合点)=900点	

## ☆自己申告書

- ・受験生全員が出願時に提出する。
- ・毎年、府教育委員会がテーマを提示する。
- ・一般選抜（通信制の課程を除く。）及び実技検査を実施する特別選抜において、ボーダーゾーン内の選抜資料とする。
- ・面接を実施する特別選抜において、選抜資料及び面接の参考資料とする。
- ・一般選抜（通信制の課程）、二次選抜及びその他の入学者選抜においては、面接の参考資料とする。

## ☆複数志望

募集人員を複数の学科等ごとに設定している学校では、原則として、同一の学力検査問題を使用することとし、同一校内の異なる学科等間の第1志望・第2志望等、複数志望を認める。

# 平成28年度大阪府公立高等学入学者選抜における 調査書に記載する評定等に関する方針改定内容の概要

## 大阪府教育委員会

大阪府教育委員会は、平成28年度入学者選抜から、調査書(内申書)に記載する評定(内申点)を集団に準拠した評価(相対評価)から目標に準拠した評価(いわゆる絶対評価)に変更するとの方針を明らかにしている。

I 府教育委員会は、府内統一の絶対評価のルール(基準)を示します。

### 大阪府統一ルール(基準)

- 1 府教育委員会は、各中学校が調査書の評定を確定する際の基準として、府内の昨年度の中学校2年生(現3年生)が参加した 平成26年度チャレンジテストでの検証をもとに「府全体の評定平均」のみを定める
- 2 各中学校は、平成27年度全国学力・学習状況調査結果(以下、全国学力調査と言う。)の平均正答率を活用し、在籍する生徒 全体の学力状況に応じて「評定平均の目安」を算出し、その目安の±0.3のポイントの「評定平均の範囲」内で調査書の評定を 確定する

## 1「府全体の評定平均」の算出方法について

- ①チャレンジテストでの検証をもとに、昨年度の中學2年生（現3年生）の府全体の評定分布（表1）を作成
- ②表1より大阪府全体の「評定平均」を計算し、「3.32」と設定

表1

評定5	12%
評定4	25%
評定3	41%
評定2	17%
評定1	5%

府全体の評定平均=3.32

$$\text{※「府全体の評定平均」} = 5 \times 0.12 + 4 \times 0.25 + 3 \times 0.41 + 2 \times 0.17 + 1 \times 0.05$$

## 2 各中学校の「評定平均の範囲」について 各中学校の「評定平均の目安」の算出方法

- ① 平成 28 年度三年生チャレンジテストにおける当該校の結果全体の平均正答率と府の結果全体の平均正答率との比(対府比)を計算(小数第 3 位四捨五入)

「対府比」=「当該校全体の平均正答率」÷「府全体の平均正答率」

- ② 当該校の「評定平均の目安」を計算

「評定平均の目安」=「府全体の評定平均 × チャレンジテストにおける対府比[A]」

	○○中学校	■■中学校	府全体
チャレンジテストの平均正答率	57.0%	63.0%	<b>60.0%</b>
チャレンジテストでの対府比[A]	0.95	1.05	<b>1.00</b>
評定平均の目安[B] (府全体の評定平均 × [A])	3.15	3.49	<b>3.32</b>
評定平均の範囲[C] ([B] -0.30 ~ [B] +0.30)	<b>2.85~3.45</b>	<b>3.19~3.79</b>	—

## 大阪市教育委員会

平成27年4月13日の教育委員会会議において、同年3月24日に決定した方針を改定し、大阪府教育委員会の府内統一基準に従って、学校ごとに定められる「評定平均の範囲」内で評定（内申点）を実施することを決定しました。

ただし、大阪市においては、府内統一基準によって中学校間での公平性を担保することに加え、生徒間でも公平性を担保するため、大阪市統一テストを実施する方針は変えておりません。同テストで市内上位の得点を得た生徒には一定の内申点を保証します。同テストだけで内申点が決まるわけではなく、中学校での日常の学習成績も内申点につながる仕組みです。

1. 各中学校における評定は、大阪府教育委員会の決定した府内統一基準に従って、学校ごとに定められる「評定平均の範囲」内で行うものとする。
2. 大阪市においては、中学校間での公平性を担保する府内統一基準に加え、生徒間でも公平性を担保する共通の評価尺度を備えた真の絶対評価を導入するため、第3学年の5教科（国語・数学・社会・理科・英語）について、全ての大阪市立中学校が参加するテスト（以下、「大阪市統一テスト」という。）を2学期に実施することとする。

大阪市統一テストの結果は、下記3の通り、個々の生徒の評定に活用するとともに、次の2つの目的にも活用するものとする。

- ① 生徒が自らの学力を把握し、目標を持ち、学力向上への意欲を高める。
- ② 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。

3. 上記2の大阪市統一テストの結果、各教科ごとに、全市の得点分布において上位7%に入る生徒には、当該教科の評定として必ず評点「5」を与えるものとする。同様に、全市の得点分布において上位21%に入る生徒には、必ず評点「4」以上を与えるものとする。さらに、全市の得点分布において上位41%に入る生徒には、必ず評点「3」以上を与えるものとする。

# 進路選択の留意点

## 1. 目的をはっきりさせる

- ・高校入学はゴールではない
- ・高校卒業時にどうするのか

## 2. 未来を切り拓くのは、自分

## 3. 世間の評判より、自分の判断を大切に

## 4. 保護者・先生としっかり相談する

# 大阪市立住吉中学校69期生 進路先一覧

進学先(公立)	
市立工芸	天王寺
西成	今宮
港南造形	柴島
阿倍野	東住吉総合
金岡	住吉
港	市立住吉商
阪南	農芸
三国丘	今宮工科
清水谷	藤井寺工科
生野	市立生野工業
泉陽	市立都島工業
東住吉	府大高専
八尾	今宮工科(定)
府教育センター附属	東住吉支援
北野	

進学先(私立)	
東大阪大柏原	浪速
金蘭会	初芝立命館
城南学園	阪南大学
藍野	箕面学園
あべの翔学	桃山学院
大阪学芸	崇徳
大阪桐蔭	奈良学園
関西創価	大阪スクールオブミュージック
関大北陽	クラーク国際(梅田)
金光藤蔭	クラーク国際(天王寺)
昇陽	天王寺学館
清教学園	中央学園
清明学院	やしま学園
電気通信大	